

分野	専門分野	授業科目	地域と暮らし
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	1 年次前期～後期
講師名 （時間・所属）	坂井 由美子（15 時間・学院教員 看護師） 古澤 貞善（7 時間・兵庫地区民生委員・主任児童委員） 貞包 有希子（8 時間・佐賀市社会福祉協議会 社会福祉士） ※うち 4 時間ボランティア活動参加		
< 科目設定理由 > 地域で生活する人々への看護を学ぶ第一歩として、自分たちが住んでいる地域やそこに住む人々の暮らしを学ぶ。 < 科目目標 > 自分たちが住む地域やそこに住む人々の暮らしを理解し、交流を図る。 ボランティア活動について理解し、活動に参加する。 < 授業内容 > ・ 坂井講師 1 人々の暮らしと地域・在宅看護 2 暮らしの基盤としての地域の理解 3 地域包括ケアシステムと地域共生社会 ・ 古澤講師 1 校区内である兵庫地区の特徴「兵庫学」 2 地域の活性化への取り組み 3 地域住民が安心して暮らすための支援 ・ 貞包講師 1 ボランティア精神とは 2 ボランタリズム・人間・命への優しさ 3 ボランティア活動の意義 行政制度とボランティアの役割 4 ボランティア活動の実際・現状と課題 5 社会福祉協議会について 6 ボランティア活動参加（4 時間） < 授業の進め方 > 講義 演習：佐賀市兵庫地区フィールドワーク ボランティア活動（4 時間） ※自ら手配し、ボランティア活動報告書を 2 月末までに提出する。			

<受講要件> なし
<テキスト> 講師の資料
<参考文献> なし
<評価方法> 坂井：レポート等 古澤講師：レポート等 貞包講師：評価なし

分野	専門分野	授業科目	地域・在宅看護総論
単位（時間）	2 単位（45 時間）	開講時期	2 年次後期
講師名 （時間・所属）	西尾美登里（15 時間・帝京大学教授） 新坂 幸大（11 時間・ナースライセンススクール WAGON 講師・保健師） 村尾 眞治（11 時間・訪問看護ステーション Reaf くるめ精神科認定看護師） 吉田美佳（6 時間・在宅看護センターびり〜ぶ 緩和ケア認定看護師） 在宅生活サポートセンター見学（2 時間）		
＜科目設定理由＞ 地域で生活する人々とその家族を理解し、地域におけるさまざまな場での看護の基礎を学ぶ。 ＜科目目標＞ 在宅で療養する対象と家族を支える看護の役割と支援方法について理解する。 また、その生活を支えるための社会資源の活用について理解する。 ＜授業内容＞ ・西尾講師 1 地域・在宅看護の展開 地域・在宅看護における看護過程 地域・在宅看護過程の展開方法 ・新坂講師 1 地域・在宅看護にかかわる制度とその活用 介護保険・医療保険制度　地域・在宅看護に関わる医療提供体制 訪問看護の制度　地域保健に関わる法制度　高齢者に関する法制度 障害者・難病に関する法制度　公費負担医療に関する法制度 権利保障に関する法制度 ・村尾講師 1 暮らしを支える看護技術 社会資源の活用　リハビリテーションの援助方法 2 在宅療養者の症状・状態別の看護 脳血管疾患　認知症　精神障害　感染症 ・吉田講師 1 地域・在宅看護の対象 地域・在宅看護の対象者　家族の理解　地域に暮らす対象者の理解と看護 2 在宅療養者の症状・状態別の看護 難病患者の在宅看護　在宅人工呼吸器療法（吸引・気管切開口のケアを含む） 在宅ターミナルケア（がんの痛みの治療法・疼痛コントロール含む） ・在宅生活サポートセンター見学			

<授業の進め方> 講義 演習 在宅生活サポートセンター
<受講要件> なし
<テキスト> 医学書院 系統看護学講座 地域・在宅看護論 1 地域・在宅看護の基盤 医学書院 系統看護学講座 地域・在宅看護論 2 地域・在宅看護の実践
<参考文献>
<評価方法> 学科試験
<評価方法> 西尾講師、新坂講師、村尾講師：学科試験等 吉田講師：評価なし

分野	専門分野	授業科目	地域・在宅療養を支える看護Ⅰ
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	2 年次後期～3 年次前期
講師名 （時間・所属）	2 年次 富永 正樹（4 時間・久留米大学医学部地域医療連携講座教授） 上野 幸子（7 時間・元西九州大学講師 看護師） 森永 育美（4 時間・佐賀県医療センター好生館 入退院支援センター 副看護師長） 前田 律子（4 時間・佐賀県医療センター好生館 地域医療連携室 看護師） 3 年次 八谷 敬子（2 時間・地域包括支援センター） 地域包括支援センター見学（9 時間 学びの共有会含む）		
＜科目設定理由＞ 地域・在宅療養に関する多職種連携及び地域連携の重要性を学び、その実際を知る。 ＜科目目標＞ 在宅で療養する対象と家族の生活を支える看護について学び、切れ目のない看護を行うためのシステムや関係職種との連携について理解する。 ＜授業内容＞ ・2 年次 富永講師 1 地域連携とは 2 地域連携の必要性和意義 3 地域連携・多職種連携の必要性 4 地域連携において他職種から看護職に期待するもの 上野講師 1 地域・在宅看護実践の場と連携 2 地域・共生社会における多職種連携・多職種チームでの協働 3 地域・在宅看護マネジメント 4 地域・在宅看護活動の創造と展開例 森永講師 1 入退院支援の実際と看護（入退院支援センター） 前田講師 1 地域における多職種連携の実際（地域医療連携センター） ・3 年次 八谷講師 1 地域における多職種連携の実際（地域包括支援センター） 地域包括支援センター見学 ※学びの共有会含む			

<授業の進め方> 講義 演習：3年次 地域包括支援センター見学 9時間
<受講要件> なし
<テキスト> 医学書院 系統看護学講座 専門 地域・在宅看護の基盤 医学書院 系統看護学講座 専門 地域・在宅看護の実践
<参考文献> なし
<評価方法> 上野講師：学科試験 他評価なし

文弥	専門分野	授業科目	地域・在宅療養を支える看護Ⅱ
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	2 年次後期
講師名 （時間・所属）	馬場美代子(10 時間・在宅看護センターびり～ぶ所長・訪問看護認定看護師) 井手久仁子(7 時間・在宅看護センターびり～ぶ 訪問看護認定看護師) 森歩（7 時間・在宅看護センターびり～ぶ・がん看護専門看護師） 内山美穂（6 時間・在宅看護センターびり～ぶ・看護師）		
< 科目設定理由 > 在宅で療養する対象に提供されている訪問看護の実際を学ぶ。 < 科目目標 > 在宅で療養する人々への日常生活援助を理解する。 主な症状、治療に伴う看護の実際を理解する。 < 授業内容 > ・馬場講師・井手講師 1 地域における暮らしを支える看護 暮らしを支える地域・在宅看護 暮らしの環境を整える看護 広がる看護の対象と提供方法 地域における家族への看護 地域での暮らしにおけるリスクの理解 地域での暮らしにおける災害対策 2 暮らしを支える看護 暮らしの場で看護をするための心構え セルフケアを支える対話・コミュニケーション 地域・在宅看護における家族を支える看護 地域・在宅看護における安全を守る看護 地域における暮らしを支える看護（食生活・嚥下 排泄 呼吸・循環 創傷管理） 3 地域・在宅看護の事例展開 医療的ケア児の事例展開 慢性閉塞性肺疾患の療養者の事例展開 ・森・内山講師 1 暮らしを支える看護技術 療養環境調整、活動・休息、食生活・嚥下、排泄、清潔・衣生活、苦痛の緩和・安楽確保、呼吸・循環、創傷管理、与薬） 2 地域・在宅看護における時期別の看護			
< 授業の進め方 > 講義			

< 受講要件 >

なし

< テキスト >

医学書院 系統看護学講座 専門 地域・在宅看護の基盤

医学書院 系統看護学講座 専門 地域・在宅看護の実践

< 参考文献 >

なし

< 評価方法 >

学科試験

分野	専門分野	授業科目	在宅救急看護
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	1 年次前期
講師名 （時間・所属）	井川 福康（30 時間・日本赤十字社佐賀県支部 指導員 ） 他		
< 科目設定理由 > 地域・在宅における救急時の対応について学ぶ。 < 科目目標 > 地域・在宅における救急時の応急処置の知識・具体的方法を習得する。 < 授業内容 > 日本赤十字社による救急法の受講 < 授業の進め方 > 講義 演習 < 受講要件 > なし < テキスト > 講師指定（救急蘇生法）のテキスト < 参考文献 > なし < 評価方法 > 学科試験及び実技試験			